

岬町協議体から派生した住民主体の取組み

平成 28 年 6 月に岬町より受託した、岬町 SC 設置業務における第 1 層岬町 SC1 名の配置、同年 7 月には、第 1 層岬町協議体が設置されました。協議体では、会議や地域のワークショップ、研修を通して各構成員の意識向上等を図り、協議体から派生した住民主体の取組みが広がっています。

皆さんこんにちは、岬町協議体から派生した住民主体の取組みを紹介します！

第1層協議体活動
年2回の会議、構成員
21名、一つのことを皆
で創出するのは難しい！
視点を変えよう！

SCが第1層協議体会議（年2回）・運営支援⇒構成員 21 名（19 団体）
専門職と地域住民が垣根なく気軽に支援・連携・情報交換できる「出会いの場・顔の見える場・情報交換の場」をコンセプトに、全体の構成員で活動を行う
◎会議の内容などを各所属組織に持ち帰って共有していく
※さわやか福祉財団オブザーバー講師：目崎智恵子氏

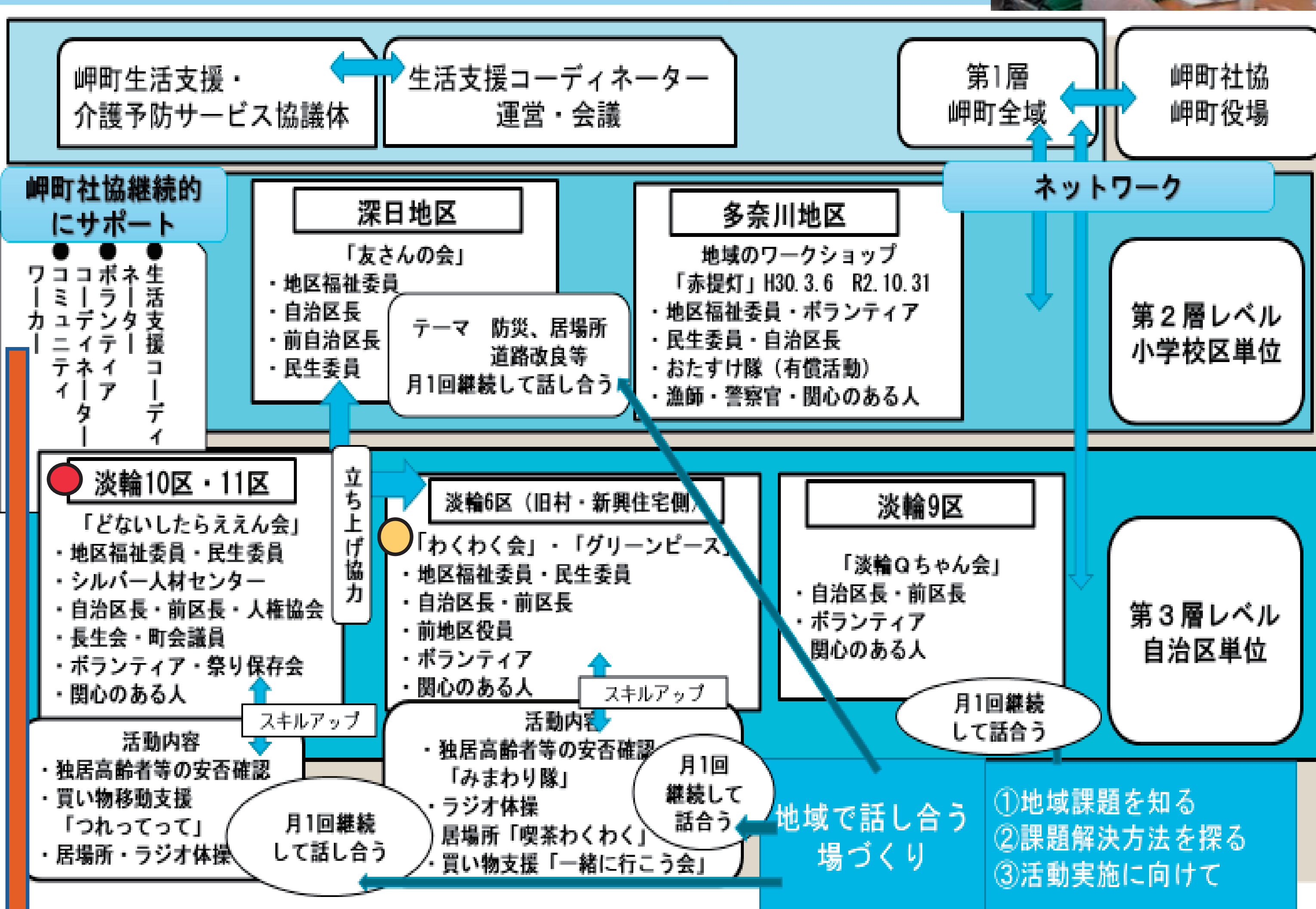
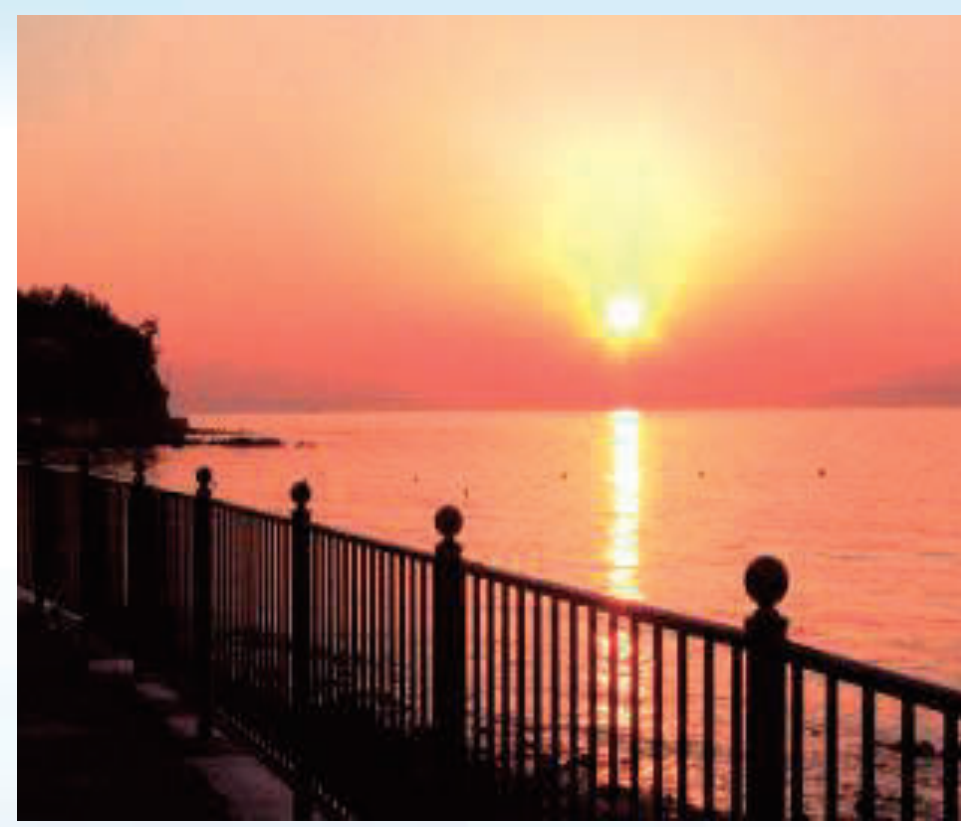


岬町の現状(令和3年4月1日現在)

- ◆ 人口 15,165人
- ◆ 世帯数 7,459世帯
- ◆ 高齢化率 39%
- ◆ 大阪府の最南端

(東南部は全体の約 80%が山地、西北部は自然海岸、平地部が少なく山間部に集落があり峠を越える手前には里山集落もある 4 町村が合併してできた交通便が悪い細長い町)

◆ 夕日 100 選に選ばれた岬町



岬町社会福祉協議会（生活支援コーディネーター・ボランティアコーディネーター・コミュニティワーカー）が全力で住民主体の活動を立ち上げから継続的にバックアップ！

淡輪6区
「わくわく会」
R3.4月現在会員数 14名



自分たちの健康増進に始めた活動が、自然とみんなのための活動になった



毎週月曜日/
モーニングやってるで
午後3時まで！



買い物支援「一緒に行こう会」毎週木曜日

みんなの想いは同じ、 「どないかせなあかん！！」

地域住民の自主性とお互いの連携と融和を図りよりよいコミュニティづくりを行い、住みよいまちづくりを目指す自治区

ラジオ体操、みまわり訪問活動から、みんなの声で始まった

地域を知るBAR開催



みんなで地域のことを考えよう！
自分たちで支え合っているって何？

淡輪10区・11区
「どないしたらえん会」
R3.4月現在会員数 29名



みんなで地域のことを考えよう！
自分たちで支え合っているって何？



買い物支援「つれってっ」毎週月曜日